

WEBサイトで家づくりを学ぶ

中日新聞広告局主催

木の家 vs 鉄の家

家づくり大学

家を建てる際に欠かせない情報を楽しく学べるサイトです!

木の家

木の家 vs 鉄の家

どっちが
いい家?

地域のニュース

愛知

岐阜

三重

静岡

長野

福井

滋賀

石川

一面

社会

政治

経済

マーケット

国際

特報

スポーツ

特集・連載

トップ > 愛知 > 10月30日の記事一覧 > 記事

愛知

ツイート 6

B! 0

チェック

おすすめ 0

g+1 0

2014年10月30日

「願いかなう鍵」モニュメントに 恋路ヶ浜をPR

田原市と伊良湖岬観光協議会は、渥美半島の先端にある海岸「恋路ヶ浜」を名所として売り込もうと、恋人らのための「願いかなう鍵のモニュメント」を造り、二十九日、お披露目した。ロマンチックな名称と裏腹に、地元で根付いた負のイメージを拭い去る狙いもある。モニュメント近くには縁起がよいとされる「四つ葉」「五つ葉」のクローバーを植え、記念に摘み取れるようにした。

恋路ヶ浜周辺の飲食店や土産物店などでは二〇〇二年から、願いを記すプレートと南京錠をセットにした「願いかなう鍵」を販売している。カップルや観光客らは思い思いの願いをしたためたプレートと錠を近くの柵に取り付ける。市が定期的にこれらを撤去することで「恋人たちの聖地」として定着させようとしてきた。

モニュメントは、これまでに柵から外した南京錠の真ちゅう部分を溶かし、製造した一辺二十五センチほどのハート形のプレートを埋め込んで「四つ葉のクローバー」をかたどった。製作費二十五万円は市が負担した。



ヒノキ材を丸くかたどったプレートに生まれ変わった「願いかなう鍵」=田原市伊良湖町で

二十九日のお披露目には、昨年にテレビの婚活番組がきっかけで交際を始め、今年七月に結婚した農業粕谷幸洋さん(32)、美奈さん(30)夫妻=田原市伊良湖町=も駆け付けた。

粕谷さんは「昨年お付き合いを始めた後に二人で来て、プレートに『結婚できますように』と書いて、それがなかった。今回は『子どもができますように』とお願いした」と笑顔を見せた。

モニュメント設置に合わせ、より環境に優しくするため、これまでのプラスチック製からヒノキ製に替えたプレートがセットになった新たな「願いかなう鍵」(税込み八百八十円)も発売した。

近くには、地元のクローバー研究家が栽培する四つ葉や五つ葉の株を植えている。随時株を補充するため、一人一本までなら、自由に摘んでいいことにした。恋人たちにとって「幸運づくし」の趣向だ。デートスポットとして売り込む一方で、地元では「別れが訪れる場所」とのうわさもなかなか消えないため、一気に払拭(ふっしょく)させようとの思いも込められる。協議会の渡辺幹和(もとたか)さん(36)は「カップルだけでなく、家族や友達同士でも、誰でも立ち寄ってほしい」と期待を込める。

(那須政治)



錠を溶かして造ったハート形で四つ葉のクローバーをかたどったモニュメント。ヤシの根元には縁起のよい四つ葉、五つ葉のクローバーが植えられる=田原市伊良湖町で



<恋路ヶ浜> 伊良湖岬近くにある太平洋に面した延長一キロほどの海岸。「伊良湖岬灯台」につながる遊歩道が整備されている。真偽は不明だが、許されぬ恋に落ちた男女が駆け落ちした末、身投げしたとの伝説も残り、口コミで「訪れたカップルは破局する」ともうわさされる。地元の商店主らでつくる伊良湖岬観光協議会はその名称にちなんで「恋人たちの聖地」として売り込もうと、今月から、地元作家による恋愛小説のインターネット配信も始めた。